

# ぱすてる

- いきいき働く女と男の役割
- 「食」から考える男女共生



蓮田市男女共生情報紙  
第2号 2000.11

## ジェンダーフリーへ ホップ ステップ

### 男女共生を考えるおすすめの本

遙洋子



『東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ』  
遙 洋子 著 筑摩書房

“?”マークが頭をめぐるこのタイトル。著者が女性学を学びつつ、その中で議論の仕方=ケンカの極意を会得するまでの過程が綴られています。「ジェンダー」という言葉を知ったばかりのあなたにも楽しめる1冊。



『世界中のひまわり姫へ』  
永田 萌 絵・小笠原みどり 文 ポプラ社

「私、ひまわり姫! さあ私と一緒にみんなの“自分らしさ”が輝く世界へ飛び出そうよ」—女性差別撤廃条約の名訳コンクールの人賞作品の絵本版。永田萌さんの素敵な絵が繰り広げる大人も楽しめるひまわり姫の物語。

## ジャンプ

### ご存じですか? KEY WORD 男女共生への

#### ●セクシュアル・ハラスメント●

おもに職場において行われるさまざまな「性的いやがらせ」のこと。地位を利用して性的な関係を迫るなどの「対価型」、ヒワイな話をするなど職場環境を悪化させる「環境型」まで範囲は広い。不快に感じる言動などについては、男女で認識に大きな差があると指摘されています。

#### ●ドメスティック・バイオレンス●

夫(パートナー)や恋人から女性に向けられる暴力のこと。広義では、家庭内弱者への「継続的な身体的虐待、心理的虐待、性的虐待」を指します。

女性問題との関連では、婚姻の有無を問わず心理的暴力を指します。

### 「ぱすてる」ってなんだ?

子どもの頃から女はピンク、男はブルーと従来の固定概念にとらわれてしまっていることが多いようです。男女が性別にこだわらず自由に好きな色を選び、柔軟な発想ができることを理想としていきたいと願い、柔らかい中間色という意の「ぱすてる」としました。



女性が中心に活動しているグループの登録受付中です。市民が主役推進課女性政策担当へ。  
☎765-1710

### 連合婦人会

婦人会は、大正の頃から歴史の長いもので、婦人の地位向上に努めてきました。現在、連合婦人会となり、幅広い総合団体として地域の数多くの問題に取り組み、温かい心を持ちつつも頑張ります。

代表 山崎幸子

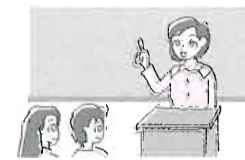
### グループ紹介

### 講演会のご案内

市民の皆さんに参加していただいている「コミュニケーション講演会」ですが、平成12年度は、来年1月28日(日)に「講演会&マリンバアンサンブルの調べ」を行います。

講師は中央大学法学部教授の広岡守穂氏で、「自分らしく生きる」仕事も家庭も、子育ても」と題し講演していただきます。

日程など詳しいことが決まりましたら「広報はすだ」でお知らせします。



### 編集後記

ぱすてる編集にあたっては、できるだけ読みやすく親しみある紙面を心がけました。

移ろう花に季節を感じ過ぎし半蔵瞬く間。近年にない猛暑の中をインタビューやアンケートなど、取材に対し積極的にご協力をいただきました。各界の皆様誠にありがとうございました。

編集員一同心からお礼申し上げます。

〔編集員〕 斉藤レイコ・榎本裕子  
北川育子・竹野谷美紀・佐藤知信  
佐藤浩子・須賀美千代

発行/蓮田市役所市民経済部市民が主役推進課 〒349-0193 蓮田市大字黒浜2799-1 ☎048-768-3111 内線278

R100 古紙配合100%再生紙を使用しています

# いきいき働く



## の役割

女性が性によって差別されることなく働くことができる環境を求めて、昨年「男女雇用機会均等法」「労働基準法」「育児介護休業法」が改正されました。果たして職場は、女性にとって働きやすい環境にどのように変わったのでしょうか。



### 職場における男女共生を

#### テーマにアンケートを実施

少子・高齢社会を迎えて、いまや女性の労働力は全体の4割を占めるようになり、もはや「女性抜き」では、わが国の経済は成り立たなくなっています。女性の力をいかに引き出すか、女性の能力をいかに生かすかを考えるとき、女性がいきいきと働くことができるのです。

「職場での男女平等」―それは男性が女性を対等のパートナーとして見ることははじまります。性差別のない職場は、女性のみならず男性にとっても働きやすい職場ではないでしょうか。

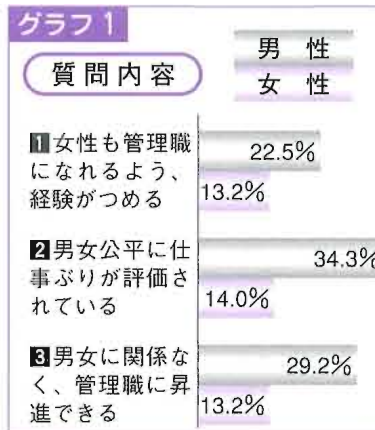
そこで、市内の企業に勤める698名の皆さんに「職場における男女共生」をテーマにアンケートを実施しました。

#### まだまだ不平等な昇進・昇格

##### 女性が働きやすい環境を

今回のアンケートでは、質問内容の31.5%しか平等になっていないと女性が感じているのに、男性では42%も平等になっていると感じています。このあたりに男女の意識のギャップがあります。その中で、男女とも7割近くの人が平等と感じたのが、企業は女性の労働力を認め、職場の方針や目標を説明し、女性を育成・活用しようとしている姿勢です。

特に女性は職場への評価として、育児休業が取りやすい雰囲気である、家事・育児をしながら働くことへの理解と協力



があることを高く評価しています。育児休業等の法的な環境が整えられた結果、子どもができていても、仕事を続ける女性が増えてきています。女性の活用が企業の成長・発展につながることを考えると、女性が働きやすい職場になるよう仕事と家庭の両立を可能にするような環境整備を進めていくことも重要でしょう。

女性活用の一歩として、研修や会議への出席、責任ある仕事を任せられるなどについては、おおよそ半数の人が実施されていると答えています。しかし、昇進・昇格については、女性がかんがりの不平等感をもっているのに対して、男性はそれほど不平等だと感じていません。男女公平に仕事が評価されない、意欲と能力があっても管理職に昇進できないなど、まだまだ不平等です。回答者に女性管理職がいなかったのも残念でした。

#### 職場での対等な

##### パートナーとして

男性が女性に対して、職場で「妻」の

## 職場における男女共生の現状は？

### ㈱東武ストア蓮田店



店長 山科峯一さん

働くことに男女差別はない  
女性も自覚をもってほしい

蓮田店の全従業員は124名、女性は99名でそのほとんどがパートもしくはアルバイトです。パート等であっても、会社にとっては重要な戦力であり、仕事の内容は正社員とまったく同じです。もちろん教育訓練制度も整っており、店舗だけではなく、本社での集合研修にも出席してもらっています。また、昇進制度もあり、チーフとして活躍することもできます。ただし、同じ立場であるパートの責任者になるため、人間関係には難しいものがあるように思えます。ですから、推薦しようと思っても、本人が辞退することがあり、残念に思っています。

それと同様に正社員になれる転換制度もあるのですが、やはり正社員になればフルタイムで働くわけですし、残

業もある。パートとして働くほうが気楽なんですよ。パートであっても、スキルアップを図り、積極的に仕事に取り組んでもらいたいです。女性自身の自覚が問われていると思います。

### 積水化学工業㈱武蔵工場



部長 佐々木良介さん  
係長 高橋初己さん  
部長 石川英樹さん  
小川真希さん  
染野政美さん

### 従業員は会社の大切な資産 誇り高きプロの集団

職場における男女共生についてうかがいたいのですが。

私どもの会社は従業員数220名、その内14名が女性で、事務の仕事に従事し

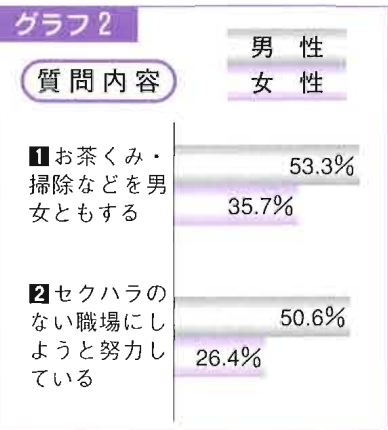
ています。生産部門は男性のみですが、これは女性を排除するのではなく、担当分野が異なるというだけで、男女は対等の立場で仕事をしています。研修や会議への参加もまったく差はないし、方針や目標についても全員に説明し、理解されています。本社や研究所には女性の管理職もいますね。武蔵工場でもやがて女性管理職が誕生すると思います。

女性の立場から職場の現状をどのように受けとめていますか。

会議でも、担当者という立場で発言、発表の場が与えられています。女性は男性のサブではなく、責任を持って仕事をできるのでやりがいがありますね。育児休暇は、いまは取得した人はいませんが、休暇中は派遣社員が仕事を引き継いでくれ、復帰後は元の職場に戻るの不安はありません。

今後、さらに職場環境の改善や仕事に希望を持つための策はありますか。

提案制度を取り入れています。毎月700件ほどの応募があり、ピカッと光るものには報奨金を出しています。セクハラや人権問題については、研修を受けた相談員がいます。仕事をすることに、男も女も関係ないですよ。与えられた仕事をするだけでなく、持っている能力を100%発揮してもらいたいと思っています。



職場での固定的な性別役割分業意識を変えることは、男性が意識を変えること、そして女性を対等なパートナーとして考え接してほしいですね。

人生80年という時代を迎えた今日、勤続年数が短く補助的な業務しか任せられなかった以前に変わって、女性も経済的に自立し、自らも資質を磨き、十分能力を発揮する生き方が必要とされてきています。

職場でも男女共生は、「男は仕事、女は家庭」といった性別役割分業の考えを捨て、女性自らが意識を変えていくことから始めましょう。

# 働く女性からの

## メッセージ

男女雇用機会均等法、育児介護休業法など女性を取り巻く職場環境は法律面では整備されつつも、その現状はまだまだ厳しいものがあります。また、正社員としてではなく、パート・アルバイト、さらには派遣社員など勤務形態も多様化しています。さまざまな立場の女性から、その現状を語ってもらいました。

### 育児休暇を取得中。復帰にあたって不安もいっぱい

中野 貴子さん(関市)



かわいい盛りりの長男雅吾くん(1歳)。9月からは保育園

妊娠がわかったとき、退職を考えましたが上司の「出産後も働いてください」という言葉に励まされ、育児休暇を取ることにしました。そのため1年間子育てを楽しむことができました。

9月からの職場復帰にあたっては、仕事のこと、子どものこと、気になることも多々ありますが、夫も家事をよく手伝ってくれるので、子育ては保育園、ファミリーサポートセンター等の行政サービスや、両親の協力を得てやっていくつもりです。

私の勤めている会社では、いままで育児休暇を取った人がいないので、会社にとっても、私にとっても初めてのケースです。これから私が経験することは、今後続く女性のためにも参考になるわけですが、上司も理解があり、よい方向にもって行けると思っています。

女性も男性も仕事と家庭の両立は大切なことですね。上司や同僚の理解を期待するだけではなく、女性の自覚も重要だと思います。若い男性が積極的に家事や育児に参加すれば、やがて上司になつたときに、その経験が活かされるのではないかと期待したいです。

### 女が男並みに働くことが男女共生のすべてではない

吉金 千晴さん(黒浜)



子育ての楽しさと難しさを実感しているという吉金さん

いまは、派遣社員として公共施設で案内業務をしています。派遣社員という働き方を選んだのは、4歳になる娘の子育てを最優先したからです。派遣社員ならば、働く日数や時間などが自由にあり、残業もありません。学校卒業後、数年間OL生活を体験しましたが、そのときは、職場の人間関係に悩んだりしました。現在の職場は雰囲気もよく、充実した毎日を送っています。同じ派遣会社から派遣された人もいるので、心強いですね。

月に10日程度働いていますが、そのときは両親に娘を見てもらっています。恵まれた環境だと思えますが、母親として娘とのスキンシップを大切にしたいというのが、私の考えです。

男女共生が声だかに叫ばれていますが、女性が男性並みに働くことだけがすべて

### ひとつのご意見

#### 女性の公職者

110人アンケート

男女が共にあらゆる社会の分野への参画は進んできていますが、日常生活や習慣の中には、性別役割分担意識が残っている状況が見受けられます。また、政策や方針決定の場への参加はまだ少ない状況にあります。そこで、市では女性政策を推進していくためのひとつの方法として、今年、3月にアンケート調査を実施しました。

(回答率は、約30%)

#### 問1 関心があること

- 環境問題・介護保険・遺伝子組み替え食品・ダイオキシン等
- 少子・高齢化社会現象
- 蓮田市長に期待と、今後の活躍
- 健康生活(成人病対策・食生活・ボケ防止)
- 親の子どもに対する虐待・凶悪な犯罪の低年齢化とその増加

#### 問2 行政が力を入れるべきこと

- 講演会・セミナーの開催
- 男性意識・女性意識の啓発
- 福祉に関するセミナー開催

#### 問3 政策決定の場へ、女性の参画を進めるための方策

- 女性の起用を多くする
- 審議会など女性の割合を一定程度確保する
- 女性職員の管理職への登用

#### 問4 女性政策に関すること

- 女性自身が問題意識を持ち、積極的に社会参画し、意思表示をすること
- 男女差別がまだ残っている中で、男性の意識を変えていくことが必要
- 労働問題・育児休暇(介護休暇)
- 家事、育児等の男女共同責任意識の高揚

#### 調査結果より...

調査結果についてみると、男女の能力や、役割に対する固定的な考え方がまだ根深く残っています。このことから一人ひとりが、豊かな生活を享受できる男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進していかなければならないといえます。

女性政策アンケート調査にご協力くださいました皆様ありがとうございます。



生涯現役が目標という宮原さんは3人のお孫さんのいるやさしいおばあちゃん

ではないと思います。女性が自分自身のライフスタイルに合わせて、自由に勤務形態を選べるというシステムが必要なのではないでしょうか。

### 子どもを持つ女性が働くことの厳しさとは

宮原玲子さん(蓮田) 山本明美さん(見沼町)

女手ひとつで二人のお子さんを育て上げた宮原玲子さん。その道程は決して平坦なものではなかったといいます。

「いまは経理の仕事をしています。親子3人で生活するために働きはじめたわけですが、20年以上も前のことであり、子どもを持った女性が正社員として再就職することはほとんど不可能でした。工場でのパートなど、社会保険もなく、身分を保障されていない仕事しかない。年齢制限もずっと厳しかったですね」

笑顔がさわやかな山本明美さんも、二人のお子さんを育てながら、さまざま



「外交の仕事は厳しいけれどチャレンジすることが大切」と山本さん

仕事を体験しています。「昨年の11月から保険外務員をはじめました。子どもが小さかったころは、託児所のある職場を探したり、主人が家にいる早朝にガソリンスタンドで働いたり、本当にいろいろな職種を経験しました」

#### 職場における根強い男女格差

女性は、子どもがいるということで、自分の希望する仕事に就けない。そして給与等の待遇面でも差別されているという現実があるようです。

「同じような仕事をしていても男女で給与体系が違う。私が勤めている会社には、建築士がいるのですが、同じ技術を持っていてもやはり給料が違うんですね。女性が男性に比べて劣っているわけではない。それなのに採用された時点から男女には格差があり、その差が埋まることはありません。これはどの会社でも同じで、いつも感じているし、いまでも感じています」(宮原)

「パートは時間給ですよ。でも、職場

法律面がどんなに整備されても、社会全体が働く女性を応援し、経営者が子育てと仕事を両立する女性を理解し、職場環境を改善しなければ、男女格差がなくなることはないでしょう。

#### 働く女性を応援する世の中の理解が大切

「子どもが病気になるまで早退を申し出たり、学校の行事に参加するために休暇を出しても、会社は快く休ませてくれませんね。男性は自分に子どもがいても、働く母親の気持ちが変わらないのがとても残念です」(山本)

「子どものことで休むことに何か後ろめたさがある。子どもを育てながら仕事をすると、ということは大変なことだと声を大にしてほしいですね」(宮原)

お茶くみ・掃除など、まだまだ男女の性別的役割分業が残っている職場も多く、こうした現状を打破するためには、男の子も女の子も区別なく家事をさせるといった家庭でのしつけが大切であり、それが今後の男女のあり方について、大きな影響を及ぼすのではないかと、二人の言葉が印象的でした。

# 食

## から考える男女共生

### 見直そう「家族の食卓」

#### 家族の基本は食生活から

— 心にも栄養を —

食卓に家族のあふれる笑顔と豊かな会話—理想だとわかっていても家族そろって食卓を囲むのは難しいという家庭は多いはず。今回は食卓から家族のあり方を考えてみましょう。

「我が家は三世大家族。家族が多い分、食卓はいつもにぎやか。料理も子どもが好きなもの、おじいちゃんたちが好きなものという並びますよ」  
 黒浜にお住まいの若山智子さんは、こう語ってくれました。若山さんのお宅は、智子さんと夫の功、さん夫妻、子ども3人の智洋君（小6）、友香ちゃん（小3）、功、さんの両親の豊さん、わかさん夫妻の6人家族。功、さんは平日は仕事で夜遅いため、一緒に夕食をとることはできません。そのかわり朝食は家族全員そろってにぎやかに食卓を囲みます。家族とのコミュニケーションを大切にしています。

お肉の好きな智洋くん、魚の好きな友香ちゃん、そして野菜の好きな豊さん夫妻、智子さんは世代の違う家族ができるだけ満足するような献立を工夫しているそうです。そして基本的にみんな同じものを食べているとのこと。

若山家の食卓に並ぶ季節感あふれる新鮮な野菜は、みんな豊さんの手作りだそうです。丹精こめられた畑には、いつも食べきれないほどの四季折々の野菜が実っています。家族団欒の楽しい笑い声が聞こえてきそうなご家族でした。

食事は単に栄養をとるためにだけあるものではありません。家族が心を通わせる場でもあり、特に子どもにとっては身体の成長、そして豊かな心の発育にもつながる大切なひとときが家族の食卓ではないでしょうか。



ほのぼの円満家族（若山さんご一家（黒浜））



#### 家族と共に夕食を



ジェニファー・カールスさん（イギリス出身）

我が家では、ほぼ毎日家族全員で夕食を囲んでいました。父は夕方5時半頃帰宅、イギリスではほとんどの子どもが塾に通わないように私も塾には行っていません。夕食はゆっくり家族で食べていました。イギリスでは、子どもが高校生になるまでは家族全員そろって夕食をとるのが一般的。夕食時が家族のコミュニケーションをはかる場であり、しつけの場であったと思います。

#### 海の外をのぞいてみれば

### 英と豪の食・風景

市内在住のジェニファーさんとダニエルさんに聞きました。



#### 父親の味はメキシカン！



ダニエル・ボニーさん（オーストラリア出身）

両親は一括にお店を経営していたこともあり、週に1~2回は父が夕食作りを担当していました。パーベキューや大きな魚をさばくのは父の役目。メキシコ料理も得意でよく作ってくれました。その味を受け継いで、私自身もタコス等のメキシコ料理を作ります。オーストラリアでは、働く母親が増えており、男性が食事を作ったりすることは珍しいことではないのですよ。

## かんたんおいしいクッキング

### こんにゃくのぴりからいため

- 材料  
 こんにゃく／ごま油  
 しょうゆ／七味唐辛子  
 けずりぶし



- 作り方  
 ①こんにゃくを塩もみし、水で洗い流す。  
 ②手、またはスプーンを使って一口大にちぎる。  
 ③こんにゃくをさっとゆでる。  
 ④かわいた鍋にごま油少量入れよく炒める。  
 ⑤しょうゆをまわし入れいりつける。  
 ⑥仕上がりに七味唐辛子、けずりぶしを入れ、いるようにしてよくからませる。  
 ＊分量は決めません。お好みに合わせて味つけしてください。

### 私もひとこと



栄養士 福島朱美さん（西城）

男だから、女だからといった意識付けでなく、ごく自然な成り行きの中で役割分担されていけばよいと思うのです。炊事・洗濯・清掃・育児等々、やれる人がやれる時に。なかでも炊事が苦手な男性も料理に目を向けてはいかがですか。ごく簡単なものから始めて自分が食べるものを自分で作ってみましょう。面倒がらずにやってみると意外な世界が広がるものですよ。



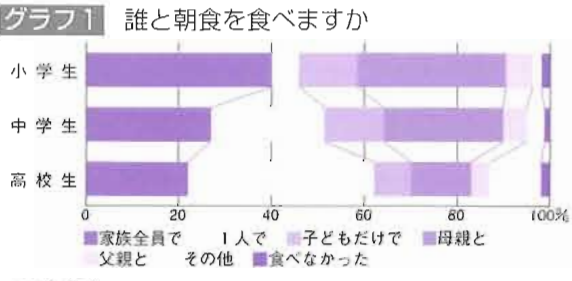
パパ大活躍（蜂須賀さんご一家（西城））

### アウトドアは… パパに おまかせ

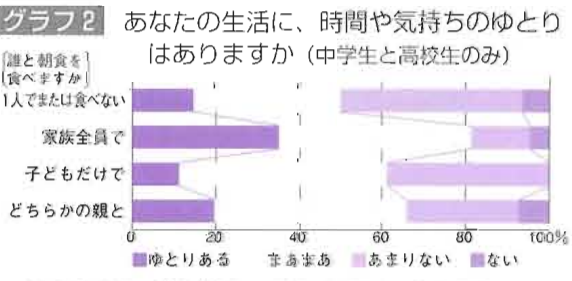
手作りの庭でするパーベキューの味は格別！「日本人は七輪でなくちゃ」と炭火で焼く肉や野菜の味は最高。普段は仕事が忙しく台所に入る時間がないパパ。でも休日のパーベキューとなる準備から火起し、材料の微妙な焼き加減まで責任もって大活躍。屋外の食卓もまたおつなもの。家族の会話も弾みます。今日は中一の望さんが部活で不在。最近はずっと忙しくて全員食卓にそろるのが難しいとのこと。

## アンケートにみる はあだっ子食事情

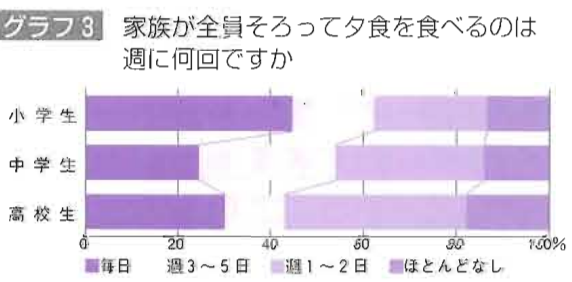
朝食を1人で食べる子どもは、気持ちにゆとりのない子が多い。市内の小学3年生～高校3年生にアンケートしたところ、このような結果が出ました。（有効回答281人。小・中・高、男女の比率はほぼ均等。）



●学年が上がるほど1人で食べる子が多くなっている。



●全員で食べる朝食は、子どもの心にゆとりを。



●ほとんど一緒に食べない家族が15%前後。「父親不在」が想像される。

### からだに心にゆとりを

朝食のとり方と子どもたちの気持ちのあり方には大きな相関関係があることが、アンケートから読み取れます。夕食についても同様の調査をしたところ、1人で食べる子の半数以上が「ゆとりがない」と答えています。

家族みんなで囲む食卓は、子どもたちに安心感を与えます。忙しいお父さん、お母さん、できるだけ家族と一緒に食事をする日を増やして、子どもの心にゆとりを育てていきたいですね。